

いちのせき 若者活躍ビジョン

vol.1



to the new ichinoseki
新しい一関へ



はじめに

若者が活躍できるまち、 一関を目指して。

このビジョンは、
一関の若者活躍の政策を議論する中で生まれたものです。

シンプルに「若者が活躍できるまち」は、
「きっと良い街で、いつか戻りたくなるようなまちである」
と何となく分かるけれども、
具体的にどんな状態のまちであれば、
それが実現しているのかは分かりにくいものです。

それを可視化することで、
これからの一関の若者活躍の取り組みにおける
「ありたい姿」を描こうと試みたものです。

多様な価値観がある中で、
このビジョンが正解で、ゴールではないとも思いますが、
このビジョンをたたき台に、
「若者が活躍できるまち《一関》」について、
議論と実行を進めていければと思います。

いちのせき 若者活躍ビジョンの 使い方

- 1 このビジョンを達成していく過程では、
様々な分野で活動されている方々との
議論が必要だと考えています。
ビジョンのテーマを基に、
活発なディスカッションとアクションが
起こることを期待します。
- 2 各テーマごとのディスカッションを経て、
市民ができること・民間企業が
できること・行政ができることを整理し、
それぞれが実行されることを期待します。
- 3 最後に、本ビジョンは、あくまで「vol.1」です。
本ビジョンは10代、20代、30代の
それぞれの世代とのワークショップによる
意見交換を行い、作成していますが、
今後も様々な議論を経て、次の世代が
更新・刷新していくことを願います。

仕事の若者活躍ビジョン 「多様な仕事と活動が生まれるまち」 について

若者がやりたいことを実現する手段の1つが「仕事」です。

多種多様な選択肢から自分が
働きたい仕事・働き方が選べることを目指して、
このビジョンを策定しています。

多様な仕事が生み出される地域には、
事業や起業、地域活動などの様々なチャレンジが生まれる土壌があります。

市民それぞれがチャレンジし、
互いにそのチャレンジを応援し合う風土と、
それをバックアップする官民一体となった仕組みづくりが必要です。

また、多様な働き方を実現するために、
フレックスタイムやテレワークなど、
様々な働き方を実現する企業が増えていくことも望まれます。

若者が仕事や活動を通じて活躍できるまちを目指します。

多様なチャレンジが
次の仕事をつくる



多様な仕事や活動を可視化し、
学生や市民がより、
地域の仕事・活動を知ることに関わり、
応援できる環境を作る。

暮らしの若者活躍ビジョン

について

仕事と合わせて、普段の暮らしが充実していることは、若者がやりたいことを実現できるまちには必要な要素です。

この「暮らし」の若者活躍ビジョンでは、10代、20代、30代のそれぞれの理想の暮らしはどんな形で、暮らしの中に今何が足りていなくて、今充実しているものは何か、を考えるきっかけになればと思います。

ビジョンは、あくまで一例です。

暮らしは十人十色なので、

こういったビジョンを話題に

「一関でこういう暮らしができれば良いよね」を

それぞれ描き、そのためには何が必要かを

ディスカッションしていけたらと思います。

暮らしのビジョンについては、

10代～30代の中でも

学生・独身世帯・家族世帯によって、

ライフスタイルが異なることから、

3つのライフスタイルに分けて、

ビジョンを描いています。

また、それぞれの朝起きてから寝るまでのシーンごとに

理想の暮らしの1つを描くことで、

より「暮らし」をイメージしやすいように

ビジョンを描いています。





若者 Aさんの いちのせきの暮らし

- ✓ 独身
- ✓ 山目
- ✓ アパート住まい

平日
(金曜)

朝起きて、顔を洗い
日課のランニングをしていると、
河原でヨガサークルがヨガをしている。



公共空間の利活用



家に戻って、
地元のお米とお味噌と
卵とお野菜で朝食。

地産地消



駅前のオフィスに出社すると、
フリーアドレスの席で、今日の
仕事場を決める。社内の打ち合わせは
担当ファシリテーターが回し、
良いアイデアがホワイトボードに
書き出されていく。

働き方改革



お昼は同僚と地元の
定食屋でランチ。

地域内経済循環

午後は眠くなるので、
帰りに地元の珈琲店で
テイクアウトの珈琲を一杯。



起業支援

営業の車を走らせていると
見渡す限りの田んぼ道。
農道から季節を感じる。

景観維持



仕事終わりに
同世代の若者が集まる
交流会に参加。

出会う場



交流会で意気投合した仲間と、
行きつけのBARで一杯。

同世代の
コミュニティ・サークル

一ノ関駅前から各地域を
循環する乗り合いタクシーで帰宅。

公共交通



休日
(日曜)

畑が趣味なので、市民農園に参加し、
地元のおじいちゃんに
野菜の作り方を教えてもらう。

農業との関わり



近くの河川敷では、マルシェが
やっていて、地元の
郷土芸能団体とアーティストが
コラボして何やら楽しそう。



郷土芸能

夜は収穫した枝豆をお供に
河川敷で焚き火をしながら、
友人とビールを楽しむ。



公共空間活用



若者 Bさんの
いちのせきの暮らし

- ✓ 夫婦
- ✓ 3歳の息子 1人
- ✓ 小学1年生の娘 1人
- ✓ 川崎・一軒家暮らし

平日 (火曜)

朝起きて窓を見ると、
降り積もった雪。
暖かい家に住んでからは
冬が楽しみ。

断熱・エネルギー



子供が起きてくるまでの間に
身支度を済ませ、
地元のお野菜でお弁当づくり。

地産地消



働き方

毎朝、家の近くまで、
スクールバスが小学生の娘を
迎えに来てくれるので、
バスを見送って仕事へ出発。

公共交通



子供たちを送り出して出勤。
今日も仕事を
バリバリとこなす。

女性活躍

放課後、娘は学童の時間。
そう言えば、今日は
地元のおじいちゃんと
畑で芋掘りをする
言っていた。



多世代交流

子供たちのお迎えは、
フレックスタイムで早上がりのお父さんが担当。
今日も楽しかったみたい。

働き方

教育

子育て支援



先に帰宅していて、
夕飯づくりを終え、
家族みんなでご飯を食べる。

#働き方



#木材活用



ご飯を食べ終えた後は、
昼間に蓄電した電気でお風呂を沸かして、
お気に入りの薪ストーブで
ゆっくり家族時間。

#エネルギー

図書館で借りた本を
読み聞かせて、
子供と就寝。



#図書館利用

休日 (日曜)

午前中は山の
プレーパークで
子供と一緒に自然体験。



午後からは、あいくの雨模様。
子供を屋内型の
キッズランドに連れて行く。
創造性を学べる施設で、
ブロックから絵の具、
創作道具など沢山あって面白い。



#子育て支援施設

子供が遊んでいる間に
併設されているカフェで
甘いものを食べてゆっくり。



#ママ・パパ支援



若者 Cさんの いちのせきの暮らし

✓ 高校生

✓ 千厩町 実家暮らし

平日
(水曜)

朝起きて、地元の朝食を食べ、
いつも通りの大船渡線で
一関の高校へ。



公共交通

午前中は
数学、英語、化学と
いつも通りの授業。



お昼は楽しみの時間。
地元のパン屋さんが毎週水曜、
出来立てのパンを
販売しにくるのだ。

地域内経済循環

学校と地域のつながり



午後からは総合学習で地域の農業の課題を学び、現場の農家さんのところへ。「こんな生き方もあるんだな」と思い、農業も面白いと思えた。

夕方からは部活動。地域でフットサルを教えているプロコーチが指導に来ていて、刺激になる。



部活動の自由化

帰りは市内の高校生が集う、フリースペースで自習して、大船渡線の時間を待つ。



高校生の場づくり



休日 (日曜)

午前中は、将来の進路も考えてパン屋でアルバイト。

学校と地域のつながり



デートスポット

午後からは、釣山公園の上に新しく出来たカフェに彼氏とデート。美味しいケーキとカフェオレと、ゆったりとした眺めに満足。



帰りに駅前のカラオケに寄って、ストレス発散！



遊び場

終わりに

このビジョンの制作にあたっては、
地域の若者にとって見やすく、
一目でわかりやすいものを意識して、
文字情報を少なく、イラストを多く使用しています。

また、本ビジョンでは具体的なアクションについては、
詳細に言及しておりません。

実際の政策やアクションについては、
今後、各テーマでのディスカッションを経て、
形になっていくことを想定しています。

今後、若者が活躍できるまち「一関」を目指して、
より活発な議論とアクションが起きることを期待します。

最後に、制作にあたって、ご協力頂いた皆様に感謝致します。

〈一関市若者活躍会議メンバー〉

阿部徹 小山裕貴 櫻井陽 松本数馬 佐藤善仁

〈お問い合わせ先〉

一関市 市長公室 若者活躍推進室

〒021-8501 岩手県一関市竹山町7-2

TEL：0191-21-8219

E-mail：wakamonokatsuyaku@city.ichinoseki.iwate.jp